

児湯地域の普及活動(普及活動月報)

令和7年10月 児湯農林振興局

(児湯農業改良普及センター)

目次

I	管内農業・農村の主な動き	(P2)
	1) 子牛セリ市が開催【全域】	
	2) 第66回宮崎県畜産共進会「肉用種種牛の部」が開催【全域】	
II	主な普及指導活動等の取組	
	1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動	(P3～5)
	1) 児湯地区農業者研修のベーシック研修、ステップアップ研修、パワーアップ研修を実施【全域】	
	2) 西都地域農業経営体支援センターの農業経営コンサルティング報告会が開催【西都市】	
	3) 新規就農者の確保・育成に向けた取組の強化【全域】	
	4) ゆず生産者の経営力向上を支援【西米良村】	
	5) 加工用ブロッコリーの定植【新富町】	
	6) 【展示ほ】キャベツ栽培における「コンフューザーV」の防除効果【高鍋町】	
	7) 【展示ほ】かんしょ【新富町】	
	8) 肉用牛繁殖部門基礎学修会の開催【全域】	
	9) JAみやざき西都地区本部茶部会、三番茶実績検討会及び秋番茶販売対策会議【西都市】	
	10) ブドウの土壌改良研修会を実施【都農町、川南町】	
	2 その他の普及活動	(P6～7)
	1) 伸びる若樹の集いが開催【高鍋町・新富町】	
	2) そば採種ほ場審査を実施【新富町】	
	3) 大麦若葉取組打合せ【木城町】	
	4) 児湯地区本部ミニトマト専門部現地検討会に参加【高鍋町】	
	5) JR九州ファーム天敵勉強会【新富町】	
	6) ズッキーニの生育順調【総合農試】	
III	参考	(P7)
	10月の気象(宮崎气象台:西都市)	

I 管内農業・農村の主な動き

1) 子牛セリ市が開催【全域】

8～9日、児湯地域家畜市場において開催されました。普及センターからは審査場においてセリ市研修会を実施し農作業安全研修を行いました。セリ市では去勢392頭、雌275頭の入場があり、平均価格（売却）は去勢706千円、雌641千円でした。

2) 第66回宮崎県畜産共進会「肉用種種牛の部」が開催【全域】

4日に第66回宮崎県畜産共進会「肉用種種牛の部」が開催されました。児湯地域からは、第1類3頭、第2類3頭、第3類3頭1セットの計9頭が参加し、それぞれで優秀な成績を収めました。中でも、第2類では、都農町の黒木秀治氏の「まさき41」が優等主席でした。

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動

1) 児湯地区農業者研修のベーシック研修、ステップアップ研修、パワーアップ研修を実施【全域】

10月は、アグリ・ステップアップ研修としてライフプラン研修の最終回、アグリ・パワーアップ研修として経営発展②（法人の現状と法人化）とレベルアップセミナー（環境制御）を実施しました。

来月以降、アグリ・パワーアップ研修の県域研修を実施して、今年度の児湯地区農業者研修は終了となります。



【レベルアップ セミナーの様子】

2) 西都地域農業経営体支援センターの農業経営コンサルティング報告会が開催【西都市】

8日、24日、29日に西都地域センターでのコンサル報告会が行われ、今年度実施予定の6件中5件のコンサルが完了しました。残る1件についても来月報告会を行い、今年度の地域コンサルは終了します。対象の6件に対しては、今後3年間、経営収支等の実績を追跡・提示しながらフォローアップが行われます。コンサルを機に、更なる発展と改善が見られることが望まれます。

3) 新規就農者の確保・育成に向けた取組の強化【全域】

30日に、児湯地域の農業の担い手確保・育成に向けた担当者会議を開催しました。新規就農者の確保育成に係る取組や中古ハウス等の情報共有、労働力確保についての事例紹介等を行いました。今後も関係機関と連携して、新規就農者の確保・育成に取り組んでいきます。



【担当者会議の様子】

4) ゆず生産者の経営力向上を支援【西米良村】

17日、竹原ゆず団地で生産者4名と令和7年度の生産状況について話し合いました。4月に設定した課題と出荷目標に対しての達成状況や、今後の取組事項を整理しました。11月から黄ゆずの出荷が始まりますが、目標達成に向けて引き続き支援を行っていきます。

5) 加工用ブロッコリーの定植【新富町】

新田西地区では、ほ場整備後に導入する水田裏作の高収益作物として、ブロッコリーを試作しており、産地化に向けた支援を行っています。

今作は昨年問題となった育苗期間中の高温もなく、9月下旬から定植が開始されました。

定植後は、適度な降雨があり、生育は概ね順調です。一方で、10月上中旬まで気温が高かったことにより、ヨトウムシ類が平年より多く確認されています。

今後は12月から収穫が開始される予定となっており、引き続き関係機関と連携し、栽培管理の支援を行っていきます。



【定植の様子】

6) 【展示ほ】キャベツ栽培における「コンフューザーV」の防除効果【高鍋町】

今年度、農業大学校内のチャレンジファームのキャベツほ場では、営振協展示ほとして交信攪乱剤「コンフューザーV」のハスモンヨトウ等のチョウ目害虫に対する防除効果の検証を行っています。

昨年から継続して展示ほを設置しており、昨年の試験で防除効果は実証できました。一方で大規模圃場では、設置に労力がかかるため、今年度は1 haの大規模ほ場における省力的な設置方法を検討しています。

今後は害虫の発生状況やキャベツの生育状況について定期的な調査を行い、交信攪乱剤による化学農薬の低減効果について検討していきます。



【コンフューザーVを用いたキャベツ栽培】

7) 【展示ほ】かんしょ【新富町】

9日、24日、25日に、2つのかんしょ展示ほでサツマイモ基腐病発生調査を行いました。2週間毎に区毎350株の発生調査を10月まで行いました。



【調査の様子】

8) 肉用牛繁殖部門基礎学修会の開催【全域】

22日に肉用牛繁殖部門基礎学修会が開催されました。今回のテーマは、「繁殖雌牛の飼育について」を普及センターが講師で説明し、14名の方に参加いただきました。次回は11月26日に開催予定です。



【学修会の様子】

9) JAみやざき西都地区本部茶部会、三番茶実績検討会及び秋番茶販売対策会議【西都市】

6日、西都地区本部茶部会員の生産者、関係機関が集まり、三番茶の実績と秋番茶に向けた対策会議が行われました。

西都地区本部からは、三番茶の概況や秋番茶の見通しの話がありました。

児湯普及センターからは、今後の茶園状況や秋整枝、病虫害発生状況、茶園マッピングについて資料を用いて説明しました。



【会議の様子】

10) ブドウの土壌改良研修会を実施【都農町、川南町】

1日にJAみやざき尾鈴地区本部ブドウ部会において、土壌改良研修会を実施しました。関係機関4名、生産者15名ほどが参加し、活発な意見交換が行われました。

普及センターからは9月に講習会で説明した、秋期の土壌改良方法について、実際に樹幹周囲の土壌に穴を掘りながら、根の分布、土壌の種類等の確認を含め説明しました。

今後も継続的に同ほ場での生育を生産者と確認し、秋期の土壌改良の必要性について説明していきます。



【研修会の様子】

2 その他の普及活動

1) 伸びる若樹の集いが開催【高鍋町・新富町】

4日に宮崎県SAP会議連合会の「伸びる若樹の集い」が児湯地域で開催されました。SAP間の交流を目的に、新富漕艇クラブ員の協力のもと、新富町富田浜漕艇場でレガッタ競技を行いました。競技終了後は高鍋町内で情報交換会を行い、会員同士の交流を深めました。



【レガッタの練習の様子】

2) そば採種ほ場審査を実施【新富町】

15日に新富町で生産が行われているそば「宮崎早生かおり」の採種ほ場審査が行われました。

延べ5名の種子審査員及び関係機関の協力の下、開花期の審査を終えました。本年は暑さの影響もあり開花期が早まっております。

次回、11月中旬頃に成熟期の審査を行う予定です。

今後も生産者が安心して利用できる高品質な種子生産を行っていきます。



【種子生産ほ場の様子】

3) 大麦若葉取組打合せ【木城町】

20日、関係機関が集まり、今後の大麦若葉の栽培方法や作付情報の確認を行いました。

大麦若葉の栽培確立に向けて、普及センターを含む関係機関と協力し、取り組んでいきます。

4) 児湯地区本部ミニトマト専門部現地検討会に参加【高鍋町】

7日に、児湯地区本部ミニトマト専門部の現地検討会が開催されました。生産者10名程度と、JA指導員、アグリシート、普及センターが参加し、2ほ場を視察しました。生産者同士でも管理手法や品種差等についての活発な意見交換がなされ、有意義な検討会になりました。

アグリシートとJAから資材等についての紹介、普及センターから侵入害虫であるトマトキバガについての注意喚起を行いました。生産者からは、資材の効果やトマトキバガの対策等について多数の質問があり、生産者の意識の高さが伺えました。

今後もミニトマト専門部を支援していきます。



【現地検討会の様子】

5) JR九州ファーム天敵勉強会【新富町】

8日に、JR九州ファームの社員を対象に天敵利用の勉強会を行いました。

JR九州ファームでは、天敵を利用した防除を取り入れて今作で3年目となり、天敵導入ハウスも14棟中8棟の予定です。これまで普及センターが病害虫などの発生状況を調査し、防除の助言を行っていましたが、今作から社員達で病害虫発生状況の把握から防除の判断を行っていけるよう、診断や判断技術の継承を行っていきます。



【調査方法実地研修の様子】

6) ズッキーニの生育順調【総合農試】

6日に、9月26日に定植したズッキーニの品種比較試験の生育状況を確認しました。

栽培しているのは5品種で、いずれも病害は確認されず生育順調でした。

この試験は総合農試野菜部並びに児湯地域の野菜担当で調査を実施しており、12月まで継続していく予定です。

試験結果は次年度の品種選定の参考となる見込みです。



【ズッキーニの生育状況】

III 参考

10月の気象(宮崎气象台:西都市)

	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
上旬	24.6	23.1	21.4	5.5	49.0	54.0	67.6	37.1	53.6
中旬	24.8	22.2	19.6	22.5	104.0	56.2	55.3	39.2	60.5
下旬	18.0	21.2	17.5	67.5	227.0	55.9	45.2	13.0	61.0
月	22.4	22.1	19.5	95.5	380.0	166.0	168.1	89.3	175.0

農林水産業者、県民の皆さまの「知りたい! 伝えたい! 相談したい!」にお応えします!



宮崎県 農林水産業ナビ
ひなたMAFiN
Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation

農林水産業に関する

- 多様な情報をホームページでわかりやすく提供!
- タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信!
- 皆さまの思いや意見を集約!



ひなたMAFiN

検索

メルマガ登録はこちら